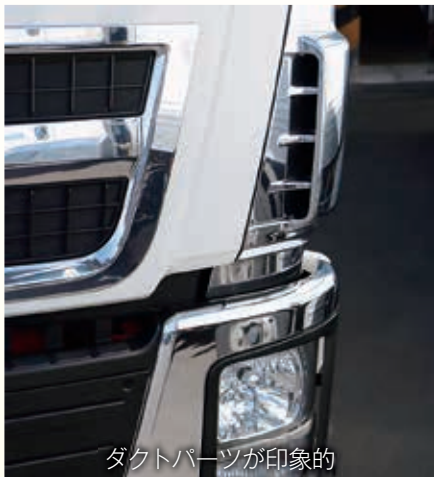




メッキパーツが顔面を飾る



ダクトパーツが印象的



社名とマーカが輝く



弘南運輸が大田市場東—東京青果に向けて出発

ひとときを輝く。パートナー
「おらほのりんご」でどきどき行く編



トラック内が相馬カラーに染まる



サンつがるの特選などを出荷

サンつがるは、青森生まれの早生りんごで、ゴールデンデリシャスと紅玉の交配品種である。酸味が少ない甘口の品種であり、ふじに次ぐ2番目の生産量を誇る。なんと1つでもジュシーさが特徴の品種である。是非一度、ご賞味あれ。

今回、当JAフルーツステーションから出荷されたのは、サンつがるの特選など516ケースとりんごジュース（ふじ・王林）100ケース。行先は、東京都の大田市場にある東一東京青果だ。片道約9時間掛け、(株)弘南運輸の花田一男さんが運ぶ。ドライバー歴約30年のベテラントライバーだ。安心・安全を第一に、一つ一つ丁寧に飛馬カラーの青いダンボール（10kg）を積み上げ、東京を目指して出発した。

平成30年産の早生種りんごが収穫期を迎えたJA相馬村管内。フルーツステーションでは、サンつがるの選果作業が本格化し、全国各地へ出荷も始まった。今年も、食味や着色のほか、玉伸びも良好であり、美味しい飛馬りんごで溢れている。

魅力
Part 2

農業振興課 広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

林檎の森

2018.9 Vol.434

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2018年9月15日

JA 相馬村概況

〈平成30年8月末日現在〉

組合員数	878人
（うち准組合員数	363人）
出資金	630,620千円
貯金額	9,203,317千円
共済保有高	3,489,320万円